

やさしくデジタルファイリング v.8.0 簡易操作マニュアル



やさしくデジタルファイリング v.8.0 簡易操作マニュアル

目次

	ページ
1 . はじめに	3
2 . やさしくデジタルファイリングの起動と使用準備	3
2 - 1 . 起動.....	3
2 - 2 . 自動アップデート.....	4
2 - 3 . スキャナの設定.....	4
3 . 管理用フォルダの設定	5
3 - 1 . デスクトップフォルダの登録.....	5
3 - 2 . サブフォルダの作成.....	5
4 . 画像の読み込み	6
4 - 1 . スキャナから読み込む.....	6
4 - 2 . ファイルのインポート.....	7
5 . データの管理	8
5 - 1 . タイトルの変更.....	8
5 - 2 . スタック.....	9
5 - 3 . データの移動.....	10
6 . ビューワー画面の機能	11
6 - 1 . ビューワー画面の切り替え.....	11
6 - 2 . アノテーションの追加.....	12
6 - 3 . テキスト情報の入力.....	13
7 . データのバックアップ	14
7 - 1 . データのバックアップ.....	14
7 - 2 . バックアップファイルを復元する.....	15

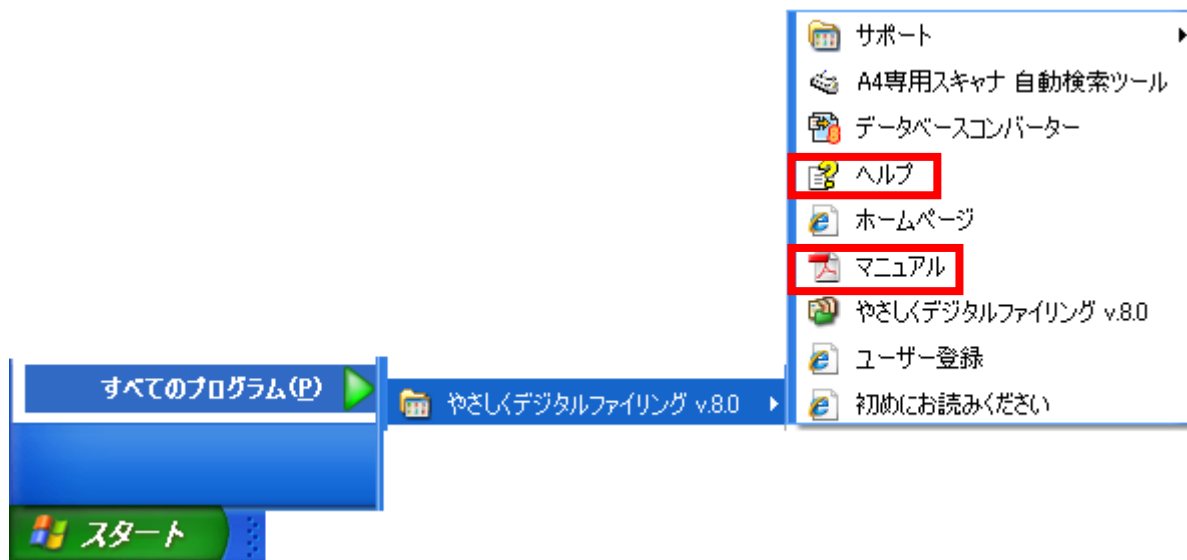
1 . はじめに

本マニュアルは、基本的な操作方法のみの説明となっています。

さらに詳しい操作方法をご覧になりたい場合は、マニュアルやヘルプをご覧ください。

マニュアルとヘルプは Windows の「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」 「やさしくデジタルファイリング v.8.0」 から開くことができます。

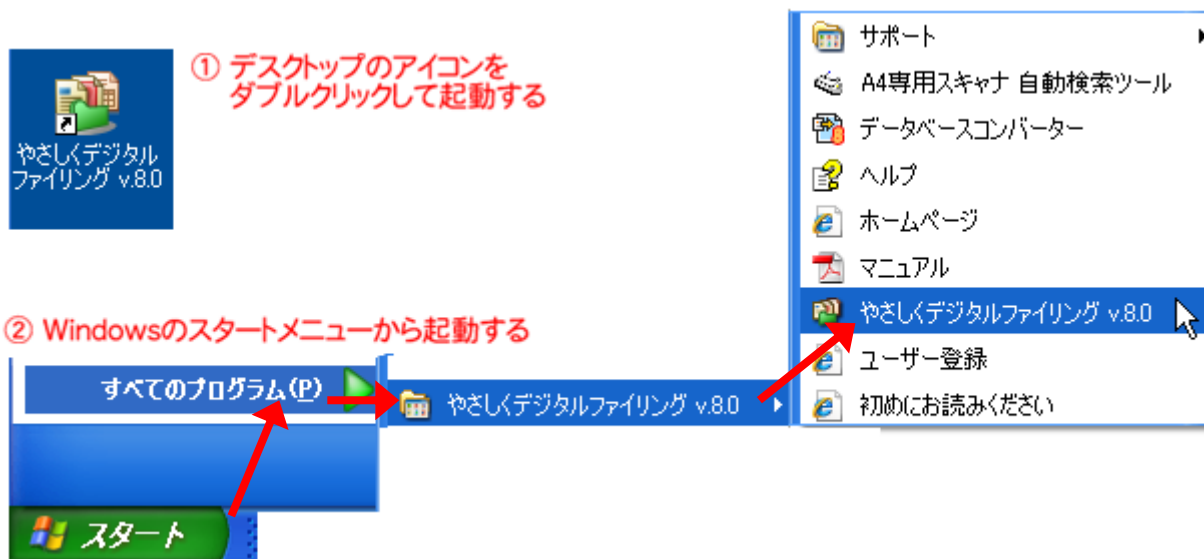
(下図は Windows XP での操作画面になります。)



2 . やさしくデジタルファイリングの起動と使用準備

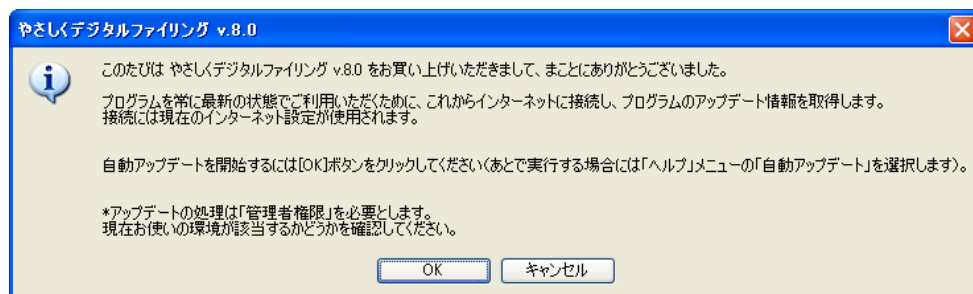
2 - 1 . 起動


デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、Windows の「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」 「やさしくデジタルファイリング v.8.0」 「やさしくデジタルファイリング v.8.0」を選択します。

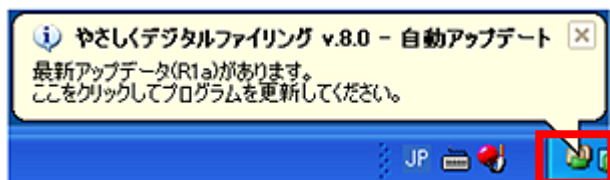


2 - 2 . 自動アップデート

初回起動時には、自動アップデートの確認画面が表示されます。通常は「OK」を選択し、アップデートを実行してください。機能追加や不具合の修正が行われます。



 最新アップデートが公開されると、やさしくデジタルファイリングの起動時に Windows のタスクバーからお知らせがポップアップ表示されます。その際には、アイコンをクリックし、自動アップデートを実行してください。



2 - 3 . スキャナの設定

画像の読み込みに使用するスキャナを設定します。

この操作ははじめてスキャナを使用する前に行います。次回以降は必要ありません。

1. 「ファイル」メニューから「スキャナの選択」を選択します。
2. 「スキャナドライバの選択」ダイアログが表示されます。お使いのスキャナドライバを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

選択画面に表示されるスキャナドライバの名称はお使いの環境によって変わります。




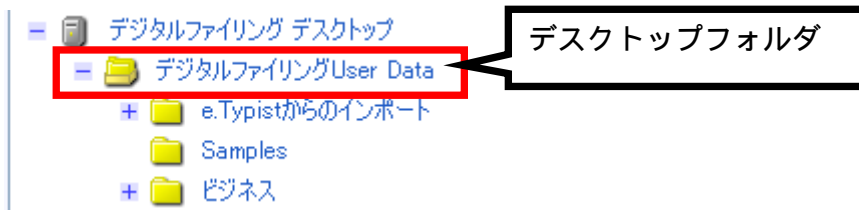
3 . 管理用フォルダの設定


3 - 1 . デスクトップフォルダの登録

パソコンに保存されているフォルダ、また、ネットワーク上のフォルダなどを登録し、データを管理することができます。このフォルダのことをデスクトップフォルダと呼びます。

初期状態では、デスクトップフォルダとして、「デジタルファイリング User Data」フォルダが登録されています。これから新たに書類を登録する場合には、このフォルダを利用することをお勧めします。

デスクトップフォルダは、左側のツリー表示部分に  の絵がついて表示されています。



 デフォルトで登録されている「デジタルファイリング User Data」フォルダ以外のフォルダをデスクトップ登録することもできます。よく使用するフォルダがあれば、登録しておくとい良いでしょう。

操作手順は下記を参照してください。

1. 「表示」メニューから「デスクトップ登録の追加」を選択します。
2. 登録するフォルダ指定し、「OK」ボタンをクリックします。
3. 「手順2」のフォルダがデスクトップフォルダとして登録されます。

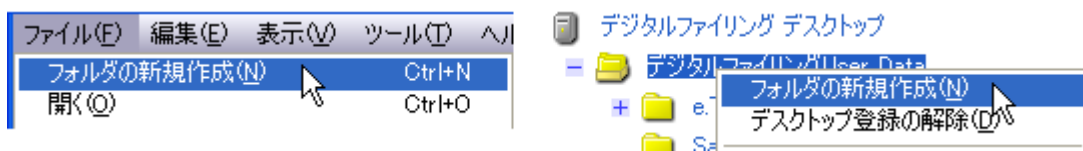
3 - 2 . サブフォルダの作成

デスクトップフォルダ下に、サブフォルダを作成することができます。

1. デスクトップフォルダを選択します。



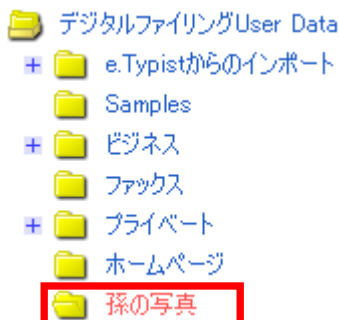
2. 「ファイル」メニューから「フォルダの新規作成」を選択します。または、フォルダを選択して右クリックし、「フォルダの新規作成」を選択します。



2. 新しくフォルダが追加されます。



3. フォルダ名を入力して、完成です。



4 . 画像の読み込み

4 - 1 . スキャナから読み込む

スキャナから画像を読み込み、やさしくファイリングで管理をします。

1. スキャン画像の保存先とするフォルダをクリックします。



2. 「スキャン」ボタン  をクリックします。

3. スキャンパネルが表示されるので、スキャンを実行してください。

スキャンが終わったら、スキャンパネルを閉じます。

4. スキャンした画像が登録されます。画像はサムネイル（小さい画像）で表示されます。



4 - 2 . ファイルのインポート

ファイルをインポートし、やさしくデジタルファイリングで管理をします。

画像ファイル、Word や Excel などの文書ファイル、PDF ファイルをはじめ、Windows で扱うほとんどの種類のファイルをインポートすることができます。

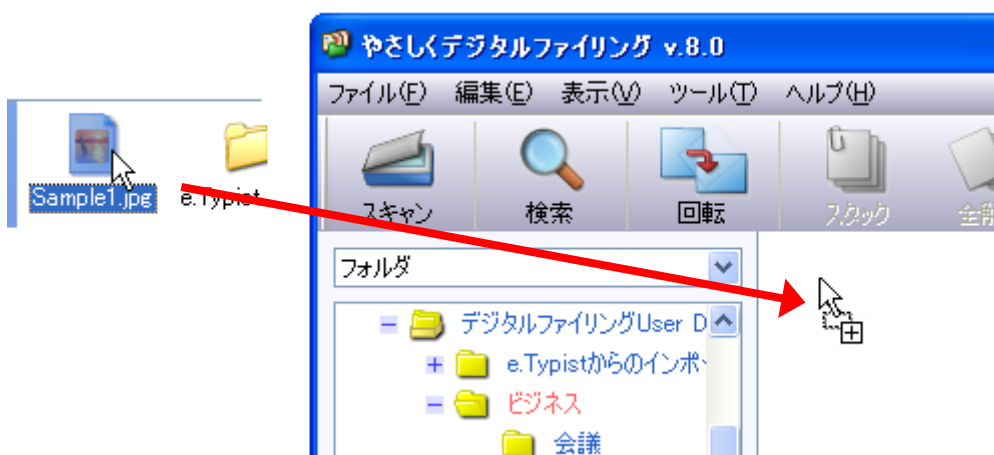
1. 保存先とするフォルダをクリックし、開いておきます。



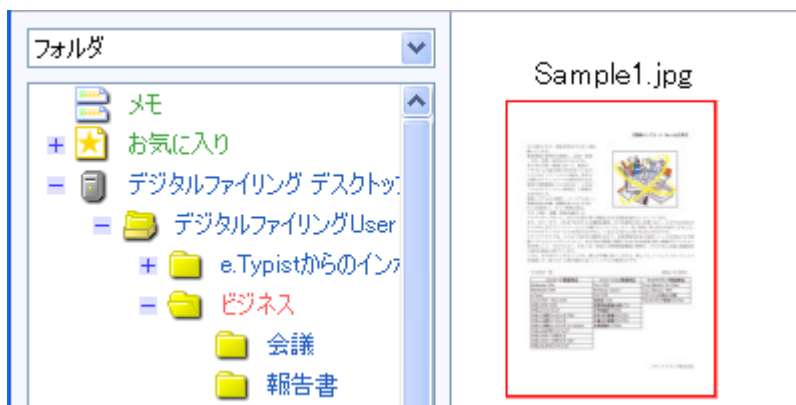
2. マイコンピュータを開き、インポートするファイルを選択します。複数選択することも可能です。



3. 選択したファイルを、やさしくデジタルファイリング画面右側の空いている部分にドラッグします。



4. データがインポートされます。



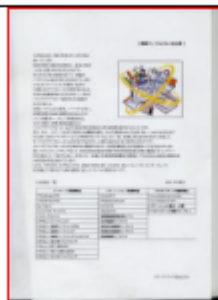
5 . データの管理

5 - 1 . タイトルの変更

取り込んだデータのタイトルを変更することができます。

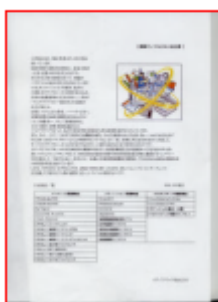
1. データを選択し、タイトル名部分をクリックします。または、データを右クリックし、「タイトルの変更」を選択します。タイトルの文字入力が可能になります。

2008年12月17日 / 午前9時18分の3頁目



2. キーボードから新しい名前を入力してください。
「Enter」キーを押すと、変更が確定します。

参考画像



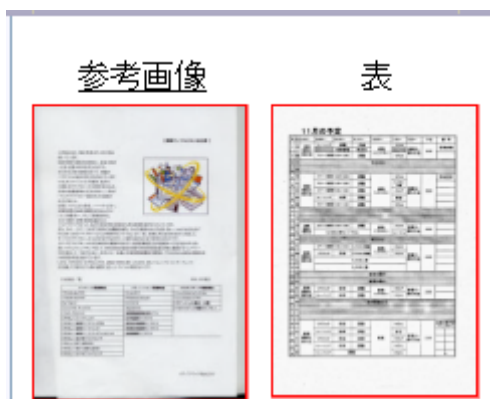
5 - 2 . スタック

取り込んだ画像を重ねて管理することができます。

この操作を「スタック」と呼びます。

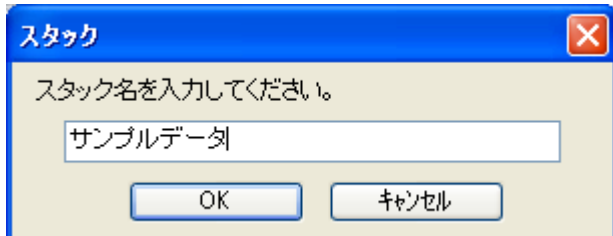
1. スタックしたいデータを選択します。

複数のデータを選択するには、「Ctrl」キーを押しながら各データをクリックするか、または、ドラッグでデータを囲みます。



2. 「スタック」ボタン  をクリックします。

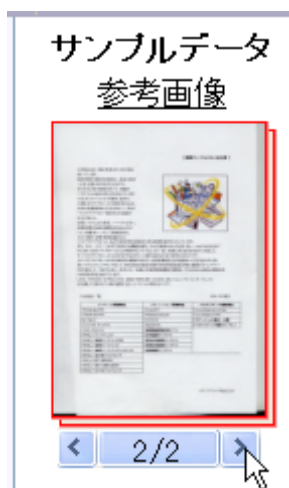
3. 「スタック」ダイアログが表示された場合には、スタック名を入力してください。
表示モードが「サムネイル表示 混在」の場合に、表示されます。



4. データがスタックされます。

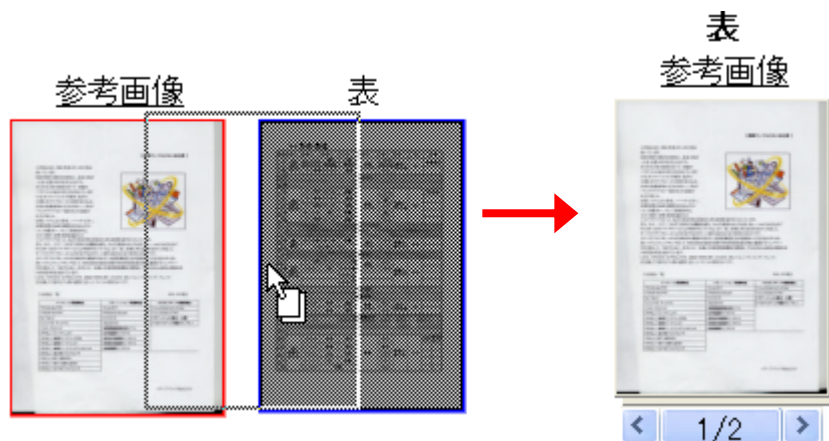


5. ページの切り替えは、サムネイル下の左右矢印ボタン「< >」で行います。



ドラッグでのスタック

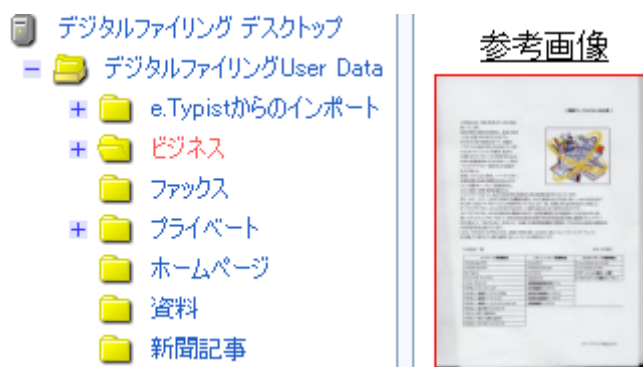
データを選択し、他のデータ上にドラッグする方法でスタックする事もできます。



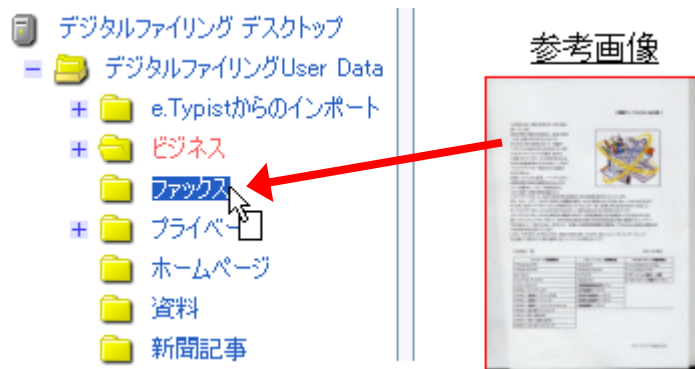
5 - 3 . データの移動

他のフォルダにデータを移動することができます。

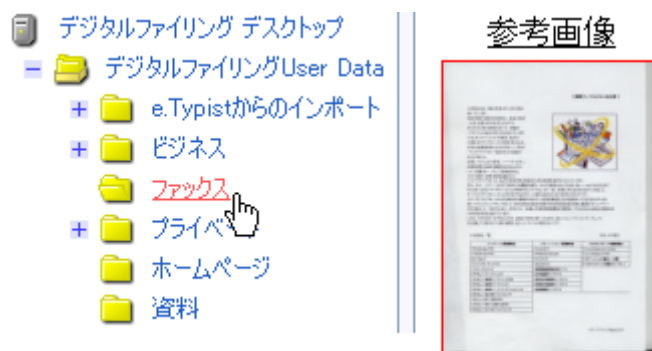
1. 移動したいデータを選択します。



- そのまま移動先のフォルダにドラッグします。



- データが移動します。

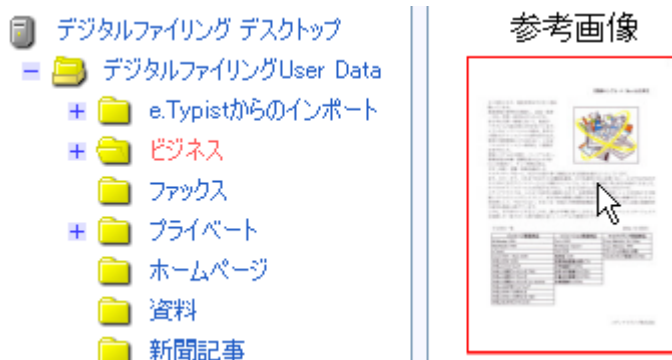


6 . ビューワー画面の機能

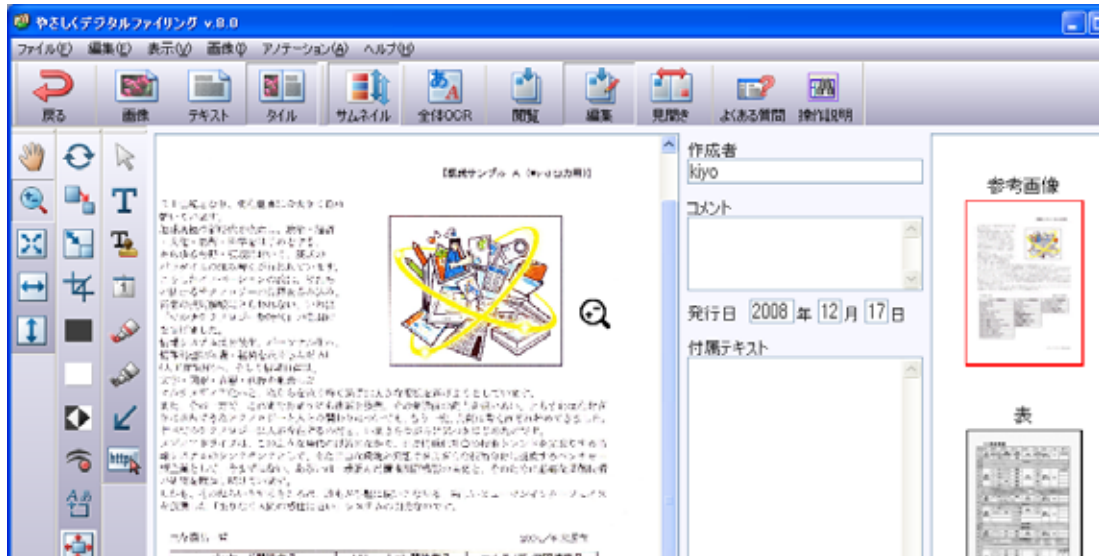
ビューワー画面では、画像データを拡大表示したり、アノテーションを追加することができます。

6 - 1 . ビューワー画面の切り替え

- 画像データをダブルクリックします。



2. ビューワー画面に切り替わります。



3. 「戻る」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

6 - 2 . アノテーションの追加

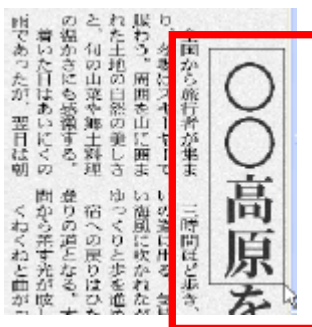
画像に直接書き込まずにマークや文字情報などを画像上に追加することができます。この機能を「アノテーション（注釈）」と呼びます。

< マーカー アノテーション >

1. アノテーションツールバーの「マーカー」ボタンをクリックします。



2. マーカーを追加したい部分をマウスでドラッグして範囲選択します。

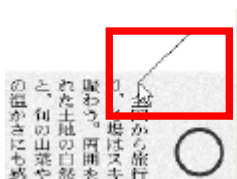


3. マーカーが追加されます。

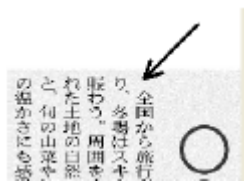


< 矢印アノテーション >

1. アノテーションツールバーの「矢印」ボタンをクリックします。 マウス形状が矢印のデザインに変わります。
2. 矢印を追加したい部分でマウスをドラッグします。



3. 矢印が追加されます。



6 - 3 . テキスト情報の入力

画像に関する文字情報や、画像内のテキストを文字情報として追加します。

「コメント」欄や「付属テキスト」欄に入力された文字は、検索に使うこともできるので、関連するキーワードなどを入力しておけば、書類を探し出す手間をはぶくことができます。

作成者やコメント、付属テキストの欄には、キーボードから文字を入力することができます。

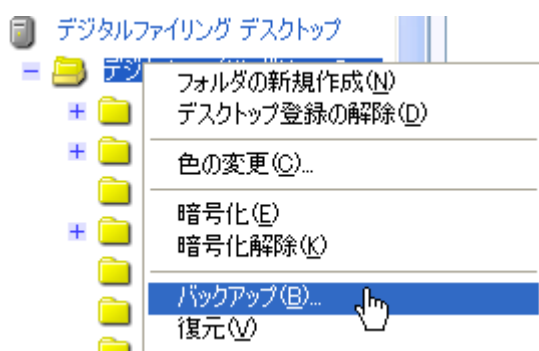
作成者
山田太郎
コメント
会議資料 サンプル画像
発行日 2008 年 8 月 4 日
付属テキスト
「新世紀を目の前に控え、世界は今大きく揺れ動いています。地球規模の新時代を模索し、政治・経済・文化・思想・科学をはじめとする、あらゆる分野・領域において、既成のパラダイムの組みかえが行われています。こうしたイノベーションの波は、私たちの関するテクノロジーの分野を呑み込み、従来

7 . データのバックアップ

バックアップファイルを作成しておく、PC が壊れた場合などにデータを復旧させることができます。バックアップファイルはこまめに作成しておく、と良いでしょう。

7 - 1 . データのバックアップ

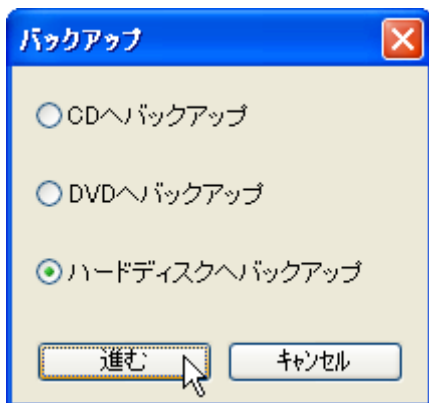
1. バックアップするデスクトップを選択し、「ファイル」メニューから「バックアップ」を選択します。または、デスクトップを右クリックし、表示メニューから「バックアップ」を選択します。



2. バックアップするデスクトップ情報が表示されますので、内容を確認して「バックアップ」ボタンをクリックします。

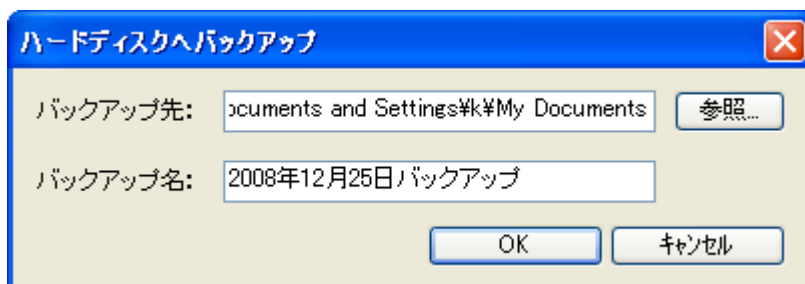


3. 下図のダイアログが表示されますので、バックアップ先を選択して「進む」ボタンをクリックします。(ここでは、ハードディスクへバックアップする方法をご説明します。)



4. 「バックアップ先」にバックアップファイルの作成場所を入力し、「バックアップ名」に

はバックアップファイル名を入力し「OK」とします。



- バックアップ処理が完了すると、バックアップファイル（2つ）が作成されます。この2つのファイルをUSBメモリやCDなどに保存しておいてください。なお、バックアップファイルは2つのファイルで成り立っていますので、必ず2つとも保存しておいてください。



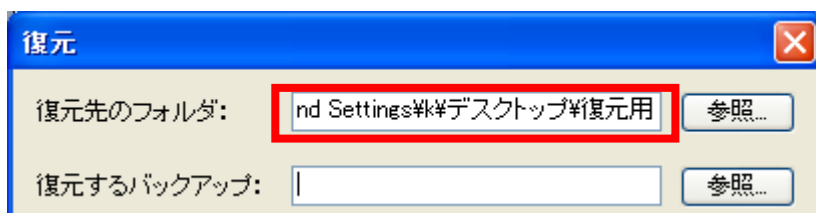
7 - 2 . バックアップファイルを復元する

- マイコンピュータから、バックアップの復元用とするフォルダを新規作成しておきます。下記は、「復元用」というフォルダを新規作成した例です。

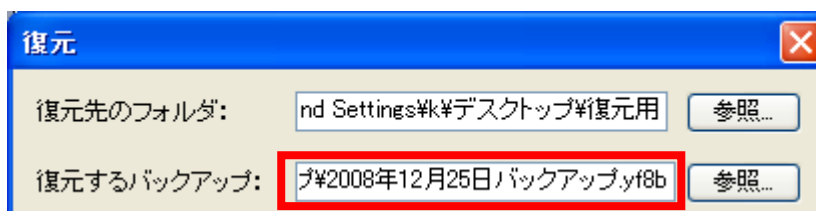


- やさしくデジタルファイリングを起動し、「ファイル」メニューから「復元」を選択します。
- 「復元」ダイアログが表示されます。

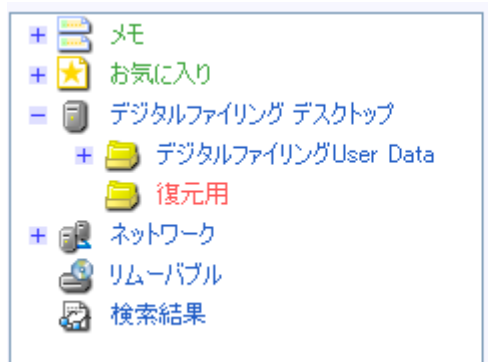
「復元先のフォルダ」には、バックアップデータの復元先とするフォルダを指定します。下記は「復元用」フォルダを復元先とする例です。



「復元するバックアップ」には、復元するバックアップファイル（*.yf8b）を指定します。



4. 「OK」ボタンを押すと、データが復元されます。



参考画像

